

緩和ケア領域の音楽療法 音楽で寄り添うとは

近年、改めて、音楽療法が注目されるようになってきました。
実は、旧約聖書のサムエル記に、すでに音楽の力は実証されていました。
実際の映像もご紹介しつつ、音楽療法とは何か、エビデンスはどうか、
このからのケアの手段としての可能性など、
お話しさせていただきます。

講師：

中山 ヒサ子
さん

日本音楽療法学会認定音楽療法士

NPO法人

和・ハーモニー音楽療法研究会理事長



北海道教育大学芸術課程卒業後、ピアニスト、チェンバリスト、ピアノ教育者として活動していた。
祖母の介護を機に「看とり」の領域に関心を持ち「札幌 生と死を考える会」を発足。A・デーケン師より死生学を学び、その後 日野原重明氏よりホスピスの音楽療法の指導を受ける。
緩和病棟での音楽療法、在宅患者訪問音楽療法、講演など幅広く活動している。

司会：宮嶋 俊一（北海道大学）

2019年 10月16日(水) 18:15～19:45

※参加自由・申込不要

北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W409 室

お問い合わせ：北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 Tel: 011-706-4088 E-mail: caep@let.hokudai.ac.jp

URL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp> Twitter: @caep_hu